

第8回
江戸川区ひきこもり支援協議会
議 事 録

江戸川区福祉部

第8回江戸川区ひきこもり支援協議会

日 時：令和6年9月9日（月）午後2時30分から午後4時30分

場 所：江戸川区グリーンパレス 集会室401

出席者：委 員 学識経験者、ひきこもり支援専門家、ひきこもり経験者の家族、
ひきこもり経験者、医療関係者、相談支援関係者、町会自治会関係者、
民生・児童委員、就労支援関係者、居場所づくり事業関係者
江戸川区福祉部長

事務局 生活援護管理課長、ひきこもり施策係職員

- 議 事：1 生活に関する調査のお願い（経過報告）
2 これからのひきこもり支援について
3 その他
4 閉会

議 事

1 生活に関する調査のお願い（経過報告）

- ・令和6年1月31日に調査を開始し、8月13日で終了した。
- ・調査未回答者の今後の対応と、ひきこもり「あり」で回答し支援を必要としない方へのアプローチ方法などに対する助言を求めた。

【委員から出た意見】

- ・未回答者の中に深刻な状態の方がいる可能性があるため、再調査の必要性を感じる。カテゴリー分け（65歳以上の単身世帯など）して対応することや、民生委員から情報提供を求めるなど議論を要する。しかし、訪問調査でも未回答のため、再調査すると苦情にもつながりかねない。
- ・町会自治会も個人情報保護などを理由に入会を拒否され、家を訪問しても不在であることが多い。特にアパートなどで一人暮らしの世帯は、アンケートを行っても回答をもらえることが少ない。
- ・家族がひきこもりの状態の方の意向を確認できないため、未回答になってしまうのではないか。
- ・過去の様々な経験から、訪問調査に対し怖い思いがある人も多いのではないか。
- ・回答したことで家族に迷惑がかかることを懸念して、回答できない方もいるのではないか。
- ・まず支援が必要と回答した方に支援すること、未回答の方については様々な調査と対象者を比較しながら調査数を限定していくことが必要になるのではないか。
- ・協議会委員が事業の紹介で関係機関を訪問したが、想像より認知度が低かった。訪問して顔を合わせることで大事だと感じた。
- ・調査にひきこもり「なし」と回答した方にも深刻な方がいるのではないか。
- ・相談しようと思った時に区の相談窓口をどう思い出してもらうか、相談したいと思えるような窓口を運営していくことは引き続き課題である。
- ・困ったときに思い出してもらえるように、区の支援を常に色々なチャンネルで発信し続

けるということが必要である。

- ・ひきこもりの状態から外へ出られるようになるには時間がかかるため、見守ることも大切と感じる。親は子を教育しようとして先回りすることがあるため、ひきこもりの原因にもなってしまう。
- ・ひきこもりの支援に必要なのは伴走型の粘り強い支援である。
- ・ひきこもりだけでなく、孤立、経済的な困窮なども多く、孤独・孤立対策の観点から様々な施策を進めるのが国の考え方である。高齢者サービス、地域包括ケアサービス、孤独・孤立対策などを組み合わせて行う重層的支援を広げていくことが必要である。

2 これからのひきこもり支援について

- ・区が実施している各支援の満足度調査の結果を報告した。
- ・今後の支援方針や就労支援に対する助言を求めた。

【委員から出た意見】

- ・実際に相談支援を行っている中で、多くの方が就労支援を求めている。
- ・就労支援に限ったことではないが、すごく頑張り無理をしてしまうことを、支援する側は非常に気をつける必要がある。
- ・他市の全世帯調査によると、自分に合う仕事を見つけない声が多い。従来の雇用されることを目的とするのではなく、個々の状況にあった働き方を求める声がこの中に含まれている。この辺りをもう少し深掘りして聞いたほうがよい。
- ・高校時代から一度も働いたことがない方が 8050 問題に差し掛かかっている。職歴がないため面接で落とされるだろうと諦めているが、職歴を問わず何歳からでも働ける選択肢を提供することが大事である。
- ・人と接することが苦手な方が多く、1 人でもできる仕事、自宅でもできる仕事を提供することも大事である。
- ・ひきこもりの状態の方が働きたいと思ったときに、その人にあった就労の支援ができないと辛い経験となってしまうため、注意が必要である。
- ・相談支援につながるまでのハードルの高さも常に意識しておく必要がある。
- ・生きていたいと思えなくなると医療機関にも行かなくなるため、就労に加え、命や健康のための支援も必要である。
- ・医療機関を受診せず、そのまま衰弱死することが起きている。これには医師の客観的判断が必要であるが、訪問してくれる医師が現状少ない。
- ・医療現場では原則、本人の同意がなければ採血や入院ができない。強制入院の条件は、自傷もしくは他人を傷つける可能性があるときに適用されるが、本人が頑なに拒否すると救急隊も搬送できず、様子を見ることしかできない。

3 その他

- ・区の LINE 公式アカウントを活用した「ひきこもり LINE 相談」を 7 月 1 日から開始した。

【委員から出た意見】

- ・人によっては LINE が一番相談しやすいという方もいるので、LINE 相談の利用が開始されて良かったと思う。
- ・ひきこもりの状態の方は X(旧 Twitter)を利用されていることが多いため、X(旧 Twitter)の活用も検討してはどうか。

4 閉会